

宇土の資産でまちづくり

崇城大生 20日に提案発表会

宇土市とまちづくり
で連携する崇城大(熊

本市西区)の学生が20
日、宇土市役所で、宇
土の資産を生かしたま
ちづくりを提案する発
表会を開く。昨年に続
き2回目。

内を歩き、住民に話を
聞くなどしてきた。

発表を基に、これま

部建築学科の内丸恵一
講師(60)の授業「地域
計画設計」を受講する
3年生19人。6グルー
プに分かれ、春から市

で熊本市の本妙寺参道
に灯籠を並べる「桜灯
籠」や、山鹿市の豊前
街道一带に和傘が並ぶ

「山鹿灯籠浪漫・百華
百彩」などが実現。宇
土市でも今年、4年生
4人が市のPRキャラ
クター「うとん行長し
ゃん」の拠点を子ども
たちと作った。

20日は、市中心部に
残る竹垣を生かした町
歩きや、市西部に多い
空き家のリノベーション
事業、長浜地区での

宿泊体験などを提案す
る予定。内丸講師は「提
案は多岐にわたる。宇
土のまちづくりに関心
がある人にはぜひ聞い
てほしい」と話してい
た。

20日は午後2時から
市役所仮設庁舎2階
で。市企画課☎096
4(22) 1111。
(西國祥太)



まちづくり案の発表を前に、地元住民らに話を聞く
崇城大生＝宇土市